

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語演習書講読 1	
科目基礎情報							
科目番号	600007			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生産工学専攻（機械工学コース）			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料						
担当教員	平田 隆一郎						
到達目標							
1. 英語を正しく発音できる。 2. 英語による受信力が向上する。 3. 英語による発信力が向上する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目 1	ナチュラルスピードの英文を英語のリズムでオーバーラッピングできる。		ナチュラルスピードの英文をオーバーラッピングできる。		ナチュラルスピードの英文をオーバーラッピングできない。		
評価項目 2	まとまりのある英文の概要や要点を適切に理解できる。		まとまりのある英文の概要を理解できる。		まとまりのある英文の概要を理解できない。		
評価項目 3	自分の意見を即座に英語で相手に伝えることができる。		自分の意見を相手に伝えることができる。		自分の意見を英語で相手に伝えることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要	スティーブ・ジョブズのスタンフォード大学でのスピーチを題材に、授業を実施する。繰り返し音読することで英語を「理解する」レベルから「使える」レベルに引き上げ、発信力の向上を目指す。						
授業の進め方・方法	英語のつづりと音の関係を示したルールであるフォニックスを学びます。そして、名スピーチを、聞き取り、音読し、暗唱します。発信力を高めるため、英語でのプレゼンテーションを行います。また、授業外に作文課題と音声課題に取り組みます。						
注意点	TOEIC (IP) を必ず受験してください。 英語力を上げるためには反復と継続が不可欠です。みんなで楽しく練習しましょう♥						
本科目の区分							
本科目は共通教養必修科目である。 この科目は専攻科演習科目（1単位）であり、総学修時間は45時間である。（内訳は授業時間30時間、自学自習時間15時間である。）単位認定には15時間に相当する自学自習が必須であり、この自学自習時間には、担当教員からの自学自習用課題、授業のための予習復習時間、理解を深めるための演習課題の考察時間、および試験準備のための学習時間を含むものとする。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction		1,2,3		
		2週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 1		1,2,3		
		3週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 2		1,2,3		
		4週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 3		1,2,3		
		5週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 4		1,2,3		
		6週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 5		1,2,3		
		7週	Students' presentation "Describe yourself"		1,2,3		
		8週	Students' presentation "Describe yourself"		1,2,3		
	2ndQ	9週	Students' presentation "Describe yourself"		1,2,3		
		10週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 6		1,2,3		
		11週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 7		1,2,3		
		12週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 8		1,2,3		
		13週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 9		1,2,3		
		14週	"Stay Hungry, Stay Foolish" 10		1,2,3		
		15週	Exam				
		16週	Speaking activities		1,2,3		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	課題		試験		合計		
総合評価割合	60		40		100		
基礎的能力	60		40		100		